5文型 <ページ3>

◆ 第 3 文型 ⇔ 第 4 文型 の書き換えの例。

《第 3 文型》 Mr. Brown taught English to us. ブラウンさん（先生）は私たちに英語を教えた。
主語 動詞 目的語② 修飾部（前置詞句…前置詞 to＋目的語①）

↓↑ *書き換え可能！ 語順に注意！ 第 3 文型では to を使ってね。*

《第 4 文型》 Mr. Brown taught us English. ブラウンさん（先生）は私たちに英語を教えた。
主語 動詞 目的語① 目的語②

《第 3 文型》 My father made a new desk for me. 父は私に新しい机を作ってくれた。
主語 動詞 目的語② 修飾部（前置詞句…前置詞 for＋目的語①）

↓↑ *書き換え可能！ 語順に注意！ 第 3 文型では for を使ってね。*

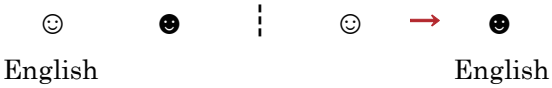
《第 4 文型》 My father made me a new desk. 父は私に新しい机を作ってくれた。
主語 動詞 目的語① 目的語②

…2 つのグループに分かれる“ルール”、何となくつかめたかな？
(^▽^)< こういうことだね！ ※どちらのグループにも入らない動詞（ask）もあるんだけど、初級の段階では省略します。

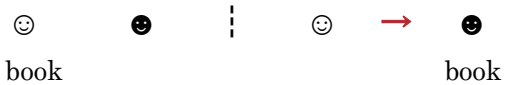
【第 3 文型で to を使うグループ】	【第 3 文型で for を使うグループ】
teach show tell give send lend	make buy

この分かれ方（to を使うか for を使うかの区別）は、それぞれの動詞ごとに決まっていることなので、そのまま暗記するしかない…んだけど、
実は、to を使うグループの動詞には、何となく共通点があるのだ！
それぞれの動詞の意味を図式化してみると、

teach：教える 例） 左の人☺から右の人☻に英語を教える



show：見せる 例） 左の人から右の人に本を見せる



tell：話す、教える 例） 左の人から右の人にそのことを話す（教える）

give：与える 例） 左の人から右の人に食べ物をあげる

それぞれ、左の人☺から右の人☻に、「何かを渡しているイメージ」なのが伝わるかな？
（send：送る、lend：貸す、も同様。）
to を使うグループの動詞は、何となく「→」こういうイメージの意味を持つ動詞なのです(^o^)
└ 言うなれば「矢印的な動き（→）」というイメージ。
for を使うグループの動詞の意味（make：作る、buy：買う）は、「矢印的な動き」ではないよね。
（「作って、その後あげる（渡す）」「買って、その後あげる（渡す）」＝「作ってあげる」「買ってあげる」と和訳することもあるけど、基本は「作る」「買う」という意味だから、これだと「矢印的な動き」はないよね。）

(*^▽^*)< 「何となく」というちょっとぼんやりした共通点だけど、暗記する時の助けになればいいな♪